

# 「8020運動」 実績調査の報告について

平成15年6月

兵庫県歯科医師会  
兵庫県国民健康保険団体連合会

# 発刊によせて

兵庫県歯科医師会

会長 橋本 猛 伸

厚生労働省と日本歯科医師会は8020運動を広く展開しています。高齢になっても、口の健康、歯の健康を守ることで全身状態を良好に保ち、質の高い、生きがいを感じる生活、人生を過ごして頂きたいと願うからです。地方分権、情報公開、住民参加などの流れの中で兵庫県では、「ひょうご健康づくり県民行動指標」が策定されていますし、平成15年5月には健康増進法も施行されています。自分の健康は自分で守ろうという風潮が県民の間に定着し始めているようです。

兵庫県歯科医師会では行動指標のうち「口から始まる健康づくり」や「8020・すこやか長寿」を合言葉に県民の方々への歯科保健啓発事業を重点的に進めています。

この実績調査は兵庫県国民健康保険団体連合会保健・医療・福祉問題協議会での協議がきっかけとなり、口と歯の健康が身体全体にどう関わっているかについて、国保レセプトデータを活用して、兵庫県国民健康保険団体連合会で実施して頂いたものです。前回第1回目の実績調査では、残存歯20本以上の方々とは19本以下の方々の2群比較で歯と健康の関係を統計分析しましたが、第2回目の今回は残存歯を1歯単位で調査し、健康づくり推進の指針となり得るよう、詳細な資料作りを心がけました。調査資料から回帰されたデータを基礎に、今後の健康づくり、予防対策立案の一助にと考えております。

末尾ながら、極めて困難な突合せ作業を継続実施して頂いた兵庫県国民健康保険団体連合会の方々に深甚なる感謝を申し上げますと共に、このデータが今後とも、地域住民への健康づくり運動に有効にご活用頂ければと願っております。

# 目 次

I 調査概要 .....	1
II 疾病中分類（119項目）別・年齢階層別件数の状況（合計・入院・入院外） .....	10
III 疾病中分類（119項目）別・年齢階層別1件当たり点数の状況（合計・入院・入院外） .....	22
IV 圏域（保険者）別・年齢階層別件数の状況（合計・入院・入院外） .....	34
V 圏域（保険者）別・年齢階層別1件当たり点数の状況（合計・入院・入院外） .....	46
VI 年齢階層別・疾病分類（19項目）1件当たり診療費の状況 .....	58
VII 疾病分類（歯科）構成割合・件数・総医療費・1件当たり診療費の状況 .....	61

## I 調査の概要

### (1) 調査の目的

この調査は、兵庫県国民健康保険団体連合会が保有するレセプトデータを活用し、「健康日本21」における歯の健康指標である『8020運動』について、十分に咀嚼機能を有する者とそうでない者の健康状態を比較し、歯と健康が身体全体でどのように関わっているかを検証することによって、同運動の推進に寄与することを目的とする。

### (2) 調査対象及び調査客体

平成14年5月診療分（平成14年6月審査分）の老人保健分レセプト（70歳以上）を調査対象とし、兵庫県歯科医師会の会員であって調査協力を得られた歯科保険医療機関から抽出したレセプト及び該当する医科レセプトを調査客体（調査該当者）とした。

#### 歯科の調査客体条件

- ・ 歯数は、平成14年5月末時点とする。
- ・ 智歯は、歯数に含める。
- ・ 残根（根面処理済も含む）は、歯数に含めない。

### (3) 調査の実施月

平成14年6月（平成14年5月診療分）

\* 疾病分類統計調査と同時に行った。

### (4) 調査の方法

平成14年6月に歯科保険医療機関から提出された老人保健レセプトの傷病名部位欄に、歯数の記入があるものを抽出し、市町村番号と老人医療の受給者番号を基に医科の老人保健レセプトとの照合を行うことによって、医科レセプトの疾病（主病）や医療費の状況を調査した。

## 2 調査結果の概要

この調査では、70歳以上で20本以上の歯を有するものを「達成者」、70歳以上で19本以下の歯を有するものを「非達成者」とした。

また、歯科受診者が医科を受診する割合は調査該当者の〔医科レセプト件数 ÷ 歯科レセプト件数〕で算出し、「受診比」とした。

なお、調査データの年齢階層区分は、70～74歳、75～79歳、80歳以上の3区分とし、歯数区分は、0～4本、5～9本、10～14本、15～19本（以上非達成者）、20本以上（達成者）の5区分とした。

表1 「8020運動」調査データの状況

	8020データ (受給者)	8020データ (レセプト)	医科老健 レセプトデータ	歯科老健 レセプトデータ
調査対象データ	A 42,469件	42,469件	790,893件	76,251件
同一市町・受給者番号 エラー件数（70歳未満）	B 193件 C 744件	755件		
達成・非達成データ	D 41,532人	41,714件	790,893件	76,251件
歯科・医科マッチデータ			G 71,394件	
達成データ	E 14,644人	14,697件	H 25,795件	
非達成データ	F 26,888人	27,017件	I 45,599件	

(1) 歯科レセプトデータの状況

ア 調査において歯数の記入があったレセプトは

A 42,469件で、うち月遅れ請求（同一市町・老人受給者番号）と思われるレセプトはB 193件、エラー数（70歳未満）はC 744件あり、 $A - B - C = D$  41,532件（人）が調査該当者の人数である。この内訳は達成者E 14,644人、非達成者F 26,888人で、歯科の調査該当者における達成者の構成割合は $E / D \times 100 = 35.3\%$ となる。【表1】

イ 歯科の老人保健レセプト件数（人数）に構成割合をかけると、 $76,251 \times 0.353 = 26,917$ 人となり、これが歯科受診者全体の中での“達成者”であると推察できる。

ウ 達成者における歯科レセプトの年齢階層別件

数は、70～74歳が8,821件（60.0%）、75～79歳が4,114件（28.0%）、80以上が1,762件（12.0%）となっており、当然のことながら達成者件数の割合は加齢とともに急速に減少している。

【表2】

エ 調査該当者の歯科レセプト41,714件の歯数区分別件数は、0～4本が7,896件（18.9%）、5～9本が6,040件（14.5%）、10～14本が6,400件（15.3%）、15～19本が6,681件（16.0%）、20本以上が14,697件（35.2%）となっている。

【表4】

オ 歯科レセプトの1件当たり点数の状況は、達成者は1,903.0点、非達成者は1,984.6点となっており、これを年齢階層別で見ると、70～74歳、75～79歳、80歳以上の各区分で達成者は、

表2 年齢階層別歯科レセプト件数

	総数	70～74歳	75～79歳	80歳以上
達成者	14,697	8,821 (60.0%)	4,114 (28.0%)	1,762 (12.0%)
非達成者	27,017	11,421 (42.3%)	8,754 (32.4%)	6,842 (25.3%)
計	41,714	20,242 (48.5%)	12,868 (30.8%)	8,604 (20.6%)

表3 年齢階層別医科レセプト件数

	総数	70～74歳	75～79歳	80歳以上
達成者	25,795	14,857 (57.6%)	7,580 (29.4%)	3,358 (13.0%)
非達成者	45,599	18,198 (39.9%)	15,376 (33.7%)	12,025 (26.4%)
計	71,394	33,055 (46.3%)	22,956 (32.2%)	15,383 (21.5%)

表4 歯数区分別 医科・歯科別件数の状況

歯数（本）	区分	歯科	医科
0～4		7,896 件	13,179 件
5～9		6,040 件	10,222 件
10～14		6,400 件	10,908 件
15～19		6,681 件	11,290 件
0～19（非達成者）		27,017 件	45,599 件
20以上（達成者）		14,697 件	25,795 件

1,858.2点、1,948.3点、2,021.3点、非達成者は、1,958.0点、1,995.0点、2,016.2点となっており、どちらも加齢とともに増加しているが、達成者、非達成者の有意差はみられない。

また、1件当たり日数は達成者、非達成者とも2.67日で変わらない。【表5、6】

・達成者の受診比

$$25,795 \text{ 件} \div 14,697 \text{ 人} = 1.76 \text{ 回}$$

・非達成者の受診比

$$45,599 \text{ 件} \div 27,017 \text{ 人} = 1.69 \text{ 回}$$

\*達成者、非達成者の医科受診比は、ほとんど差がない。

## (2) 医科レセプトデータの状況

ア 歯科の調査該当者が医科を受診した件数はG 71,394件で、このうち達成者がH 25,795件、非達成者がI 45,599件である。

達成者の構成割合は  $H / G \times 100 = 36.1\%$  となり、歯科の構成割合 (35.3%) と差がないことから、達成者、非達成者ともほぼ同じ割合で医科を受診しているといえる。【表1】

イ 年齢階層別のレセプト件数を70～74歳、75～79歳、80歳以上の区分で見ると、達成者はそれぞれの区分で14,857件 (57.6%)、7,580件 (29.4%)、3,358件 (13.0%) であり、非達成者は18,198件 (39.9%)、15,376件 (33.7%)、12,025件 (26.4%) となっている。【表3】

年齢階層別のレセプト件数は、医科、歯科ともほぼ同じ構成割合を示しており、どの階層においても医科の受診比は変わらないといえる。

ウ 医科レセプト71,394件の歯数区分別件数は、

表5 医科・歯科別1件当たり点数・日数・受診比率の状況

区 分		歯 科	医 科
1件当たり点数	達成者	1,903.0 点	1,938.7 点
	非達成者	1,984.6 点	2,282.9 点
1件当たり日数	達成者	2.67 日	2.88 日
	非達成者	2.67 日	3.06 日
受 診 比 率	達成者		175.51 %
	非達成者		168.78 %

※受診比率は、医科件数÷歯科件数で算出した。

表6 年齢階層別 (医科・歯科別) 1件当たり点数の状況

区 分		歯 科	医 科
70 ~ 74 歳	達成者	1,858.2 点	1,850.8 点
	非達成者	1,958.0 点	2,113.5 点
75 ~ 79 歳	達成者	1,948.3 点	2,059.2 点
	非達成者	1,995.0 点	2,210.3 点
80 ~ 歳	達成者	2,021.3 点	2,055.3 点
	非達成者	2,016.2 点	2,632.4 点

0～4本が13,179件（18.5%）、5～9本が10,222件（14.3%）、10～14本が10,908件（15.3%）、15～19本が11,290件（15.8%）、20本以上が25,795件（36.1%）となっており、各区分の件数割合は歯科レセプトとほぼ同じである。

【表4】

エ 医科レセプトの1件当たり点数の状況は、達成者が1,938.7点、非達成者が2,282.9点で、非達成者の方が344.2点（約18%）高くなっている。【表5】

これを年齢階層別でみると、70～74歳、75～79歳、80歳以上の各区分で、達成者は、1,850.8

表7 歯数区分別 医科・歯科別1件当たり点数の状況

歯数(本)	区 分	歯 科	医 科
0～4		2,015.7 点	2,607.7 点
5～9		1,907.1 点	2,311.6 点
10～14		1,958.4 点	2,133.2 点
15～19		2,043.0 点	2,022.6 点
0～19（非達成者）		1,984.6 点	2,282.9 点
20以上（達成者）		1,903.0 点	1,938.7 点

表8 年齢別・歯数別件数の状況（歯科）

歯数(本)	年 齢		70～74歳	75～79歳	80歳以上	計
0～4	総 数		2,565	2,482	2,849	7,896
	男		1,263	1,162	1,070	3,495
	女		1,302	1,320	1,779	4,401
5～9	総 数		2,543	1,996	1,501	6,040
	男		1,141	868	592	2,601
	女		1,402	1,128	909	3,439
10～14	総 数		2,896	2,151	1,353	6,400
	男		1,319	920	567	2,806
	女		1,577	1,231	786	3,594
15～19	総 数		3,417	2,125	1,139	6,681
	男		1,502	937	511	2,950
	女		1,915	1,188	628	3,731
20以上	総 数		8,821	4,114	1,762	14,697
	男		4,019	1,894	821	6,734
	女		4,802	2,220	941	7,963
合 計	総 数		20,242	12,868	8,604	41,714
	男		9,244	5,781	3,561	18,586
	女		10,998	7,087	5,043	23,128

点、2,059.2点、2,055.3点、非達成者は、2,113.5点、2,210.3点、2,632.4点となっており、特に80歳以上では非達成者が557.1点（約28%）も高くなっている。【表6】

オ 医科の歯数区分別の1件当たり点数をみると、0～4本が2,607.7点、5～9本で2,311.6点、10～14本で2,133.2点、15～19本で2,022.6点、20本以上で1,938.7点となっており、歯数が多いほど1件当たり点数は低くなっている。特に0～4本区分と比較すると669点も低くなっている。【表7】

前述の達成者・非達成者の医科受診比が変わらないことを考え合わせると、同じように病気に罹患しても、歯の喪失が少なく、よく噛めている人ほど健康状態が良好であるといえる。

### (3) 疾病中分類（119項目）別・年齢階層別1件当たり点数の状況

ア 調査レセプト（医科）の1件当たり点数（平均点数）は〔総数〕で、

$$\frac{(1,939点 \times 25,795件) + (2,283点 \times 45,599件)}{25,795件 + 45,599件}$$

=2,159点

同様に計算すると

[70～74歳] : 1,995点

[75～79歳] : 2,160点

[80歳以上] : 2,506点

〔総数〕でみると、達成者と非達成者の1件当たり点数の差は344点で、達成者は平均点数より10.2%低い。

[70～74歳] では、262点差で7.2%低い。

表9 年齢別・歯数別件数の状況（医科）

歯数(本)	年齢	年齢			計
		70～74歳	75～79歳	80歳以上	
0～4	総数	3,989	4,364	4,826	13,179
	男	1,892	2,030	1,840	5,762
	女	2,097	2,334	2,986	7,417
5～9	総数	4,018	3,492	2,712	10,222
	男	1,715	1,456	1,097	4,268
	女	2,303	2,036	1,615	5,954
10～14	総数	4,672	3,813	2,423	10,908
	男	2,026	1,556	1,053	4,635
	女	2,646	2,257	1,370	6,273
15～19	総数	5,519	3,707	2,064	11,290
	男	2,274	1,600	962	4,836
	女	3,245	2,107	1,102	6,454
20以上	総数	14,857	7,580	3,358	25,795
	男	6,518	3,392	1,545	11,455
	女	8,339	4,188	1,813	14,340
合計	総数	33,055	22,956	15,383	71,394
	男	14,425	10,034	6,497	30,956
	女	18,630	12,922	8,886	40,438



[75～79歳]では、151点差で4.7%低い。

[80歳以上]では、577点差で18.0%低い。

イ 達成者は年齢が上がっても点数は、男女ともあまり変わらない。

ウ 非達成者は年齢が上がるにつれて、点数は男女とも高くなる。

エ 1件当たり点数はすべての年齢階層において男性の方が高くなっている。この傾向は、達成者より非達成者の方が強く、特に75～79歳の非達成者は男性が32.5%高い。

オ 達成者と非達成者の1件当たり点数の差が比較的大きな疾病は、

「血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害」

「新生物」

「神経系の障害」

となっている。【表10】

#### (4) 圏域（保険者）別・件数・点数の状況

ア 達成者の医科レセプトの構成割合（県平均36.1%）が低い圏域は、丹波（28.7%）、北但馬（29.0%）、淡路（29.3%）となっている。

達成者と非達成者の受診費に差がないことから、この圏域では達成者が平均より少ないと考えられる。

イ 神戸と阪神圏域では、各階層で達成者の件数割合が平均より高くなっている。

ウ 圏域別の1件当たり点数を入院外の1件当たり点数と比較すると、達成者では神戸、東播磨内陸が低く、西播磨西部、西南但馬が高くなっている。

また、非達成者では東播磨臨海、東播磨内陸が低く、北但馬、西播磨西部が高くなっている。（対象データ数を考慮し、入院による高点数レセプトの影響を排除するため、入院外での比較とした。）【表16、19】